



報道機関各位

令和元年10月24日

健康福祉部保健予防課
担当者 野路、上藤
電話番号 0776-20-0351
県庁内線番号 2625、2626

腸チフスの発生について

1 概要

令和元年10月23日、福井市保健所管内の医療機関から福井健康福祉センターに対し、腸チフス患者の発生届出があった。このため、福井健康福祉センターは、患者の健康状態、行動等についての調査を実施した。

2 患者の状況

- (1) 患者 福井健康福祉センター管内在住の女兒 1名
- (2) 発症日 令和元年 9月29日
- (3) 初診日 令和元年10月 1日
- (4) 入院日 令和元年10月11日 (退院日 10月19日)
- (5) 血液検査開始日 令和元年10月11日 / 結果判明日 令和元年10月23日
- (6) 主な症状 発熱、比較的徐脈
- (7) 現在の状態 症状は回復している
- (8) 海外渡航歴 有 (渡航先: 南アジア 帰国日 9月22日)

3 感染源、感染経路 渡航先の南アジアでの感染が考えられる。

4 発生に伴う対応

福井健康福祉センターにおいて、下記の措置を実施した。

- ① 本人・接触者の健康状態、本人の行動および喫食状況の調査
- ② 衛生教育の実施
- ③ 自宅の消毒の指示

5 接触者の状況

2名症状なし。(2名に対し検便を実施)

6 近年の腸チフス発生状況

(人)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年 (全国は暫定数)	令和元年 (全国は10月13日現在)
全 国	53	37	52	37	35	33
福 井 県	0	0	0	0	0	1

※ 県内での発生は、平成15年1件、平成18年1件。

7 腸チフスについて ※三類感染症 (O-157、コレラ等)

- ・病原体: チフス菌
- ・潜伏期間: 通常7~14日
- ・主な感染経路: 感染した人の便や尿に汚染された食物や水を介して感染する。
- ・主な症状: 39℃を超える高熱が1週間以上も続き、比較的徐脈、バラ疹、脾腫、下痢などの症状を呈し、腸出血、腸穿孔を起こすこともある。

8 海外へ渡航される方へ

[予防方法]

- ・腸チフスは世界中でみられる感染症ですが、南アジア、東南アジア、アフリカ、カリブ海、中央および南アメリカで多く発生しています。これらの地域では、生水・氷・生の魚介類 (刺身・エビなど)、カットフルーツ、生野菜は避けましょう。
- ・不衛生な食品・生の食品などの摂取を避けることがまず重要なことですが、無理な旅行日程などによって体調を崩すことがないよう心掛けることも大切です。